

禅林寺春の予定

二月十五日 涅槃会

お釈迦様のご命日。当寺の本堂内に亡くなられた様子を描かれた涅槃図を掲げて供養します。

二月十八日(日) 午後二時

禅林寺檀家総会

当寺本堂にて三年に一回の檀家総会を開催します。

檀家の方には別紙にて総会ご案内、檀家総会代投票用紙を配布させていただきますので、よろしくお願いたします。

二月二十七日(火) 十時

坐禅会

みなさんのご参加をお待ちしております。

三月十日(日) 午後二時

春の永代供養会

今回は、本山からの巡教師であります福岡県龍松寺住職 武久寛海師にご法話いただきます。

どうぞ皆さん、万障お繰り合わせの上ご参詣ください。

大般若札について

先月檀家様に配布しました大般若札について、「どうすればいいのでしょうか？」と問い合わせがありましたので、説明させていただきます。

そもそも大般若札は、一月十一日に当寺の大般若祈祷会で大般若経により祈祷させていただいたお札で、御守り札であります。(正月に行う寺院が多い) このお札は、お家の玄関に入った内側の大黒柱や壁にお貼りください。そして古いお札は禅林寺本堂に入った賽銭箱の横の箱に入れておいてください。

大般若経は『大般若波羅蜜多経』といい、正式には六百巻あります。
だいはんにやはらみたくよう

そこには経典のすべてが網羅されており、このお経を読誦(どくじゅ唱える)する、あるいは転読(てんたつ)といって読むのではなく、経文を見るだけでも、パラパラとめくり、めくった風を感じるだけでも、ご利益を得られると伝えられております。

さらにはこの経文に触れるだけでもいいとされ、この経本を肩や背中、腰などに当てる加持祈祷をされるお寺さんもあるほどです。

祈祷会の仏前には「大般若札」(下記写真)をお供えし、六百巻に及ぶ大般若経を出頭した僧侶皆で分担して「大般若波羅蜜多経第〇〇巻」と大声で唱え、パラパラとお経本をめくっていきます。そして一巻めくり終えたら「降伏一切大魔最勝成就」と大声で祈禱します。
こうふくいつたいまがいしよつじょうじゆ

西遊記でおなじみの三蔵法師(玄奘三蔵)がインドから仏教の真理を求めた旅によって運んでこられた経典がこの『大般若波羅蜜多経』です。

ここには生きとし生けるもの、命あるものすべてが共存して行くための重要な教えが書かれています。つまり仏教の原点が書かれています。



右は表書きです。「大般若寶牘」だいはんにやほうとく、と読みます。宝のお札という意味です。そして中にはこのようなお札が入っています。



(中) 奉轉讀大般若六百軸金文專祈
ほうてんどくだいはんにやほうとくじゆきんぶんせんせんせ

(右) 家内安全 (左) 火盜消除、之依
かないあんぜん かとうしょうじよ しゆう

大般若六百の軸を転読し祈り奉る。家内安全、火災盜難の災いを消し除く。

(右端) 無位真人現面門 智慧愚癡通般若
(左端) 靈光分明輝大千 神鬼何處着手脚
つまり鬼神(疫病、天災など)を祓(はら)う呪文が書いてあります。